

(地域情報発信の強化－2)

官民協働による地域の観光情報化への取り組み
「青森県の観光クラウド」
(株式会社富士通システムズ・イースト)

〔概要〕

青森県では二次交通（車）による円滑な周遊を支援するルートガイドサービスを開発。地域共同利用型の観光クラウドとして、県内 32 団体で利用するとともに、公共の保有する観光情報を活用した官民協働での観光情報サービス創出に取り組んでいます。

〔コラム〕

2010 年 12 月、東北新幹線新青森駅が開業。青森県では観光による経済浮揚への期待が高まっており、官民による様々な観光への取り組みが行われています。

旅行者をお迎えするにあたり、特に二次交通を車に依存する本県においては、旅行者の車での円滑な周遊を支援する態勢や、埋もれた地域資源を浮上させ、青森県の知られていない魅力を発信していくことが求められています。

そこで当社では旅行者自身が手軽に車での周遊計画を作成できる「My ルートガイドサービス」を開発いたしました。(下図、特許技術)

これは観光サイトから行きたい観光スポットを自由に選択し、選択された複数の観光スポットを自動で最適移動順序に並び替え、電子地図上に移動ルートを展開します。さらに車での走行時間や走行距離も自動計算されます。

また、移動ルート周辺に点在する埋もれた観光スポットを浮上させ、寄り道スポットの発見機会へとつなげています。

【車での自由な周遊計画をつくるMy ルートガイドサービス】



さらに My ルートガイドサービスでは、(社)青森県観光連盟様との協働により県内の豊富な観光情報の提供を受けました。これにより広く県内の観光スポットも閲覧でき、それらをつなぐ県内広域周遊ルート計画をワンストップで実現できるようになりました。

当サービスは既存の観光サイトに簡単に組み込みができる地域共同利用型サービス(観光クラウド)として進化させ、現在、県内 32 団体の観光サイトでご利用いただいております。(下図)

また、前述の公共から提供された観光情報を活用して、周遊ルート案内のできる先進的なモバイル観光案内サービスを開発。地元レンカー会社を通じて旅行者へ提供しています。車で巡る周遊計画を支援するとともに、青森の新たな魅力の発見機会につなげています。

このように青森県では公共団体の保有する観光情報をオープンデータとして民間に開放することで、様々な地域情報サービス創出へとつながっています。

【県内観光サイトで共同利用。県をあげて旅行者の周遊計画を支援】

車での周遊観光を支援

- ・車での最適ルートガイド提供。
- ・県内観光情報とルートガイドを共同利用。
- ・県内のどの観光サイトでも県内周遊ルートが計画できる。
- ・ルート周辺のスポットを発見したり、埋もれた観光資源の発見に。

- ・最適な観光ルートを表示
- ・移動時間と移動距離を自動計算
- ・移動ルート周辺のスポット案内

〔参照モデル〕

観光クラウドは H20 年度総務省地域 ICT 利活用モデル構築事業（青森県五所川原市）での事業成果を参照し、当社で共同利用型サービスとして進化させたモデルです。

(問い合わせ先)

株式会社富士通システムズ・イースト 青森オフィス 米田 (まいた)

TEL : 017-762-1053 e-mail : maita-t@jp.fujitsu.com